

Cente Technical Information

発行番号	001-0032	Rev	第1版	発行日	2010/04/02
題名	FAT, Directory CacheのDeviceAccessError時のキャッシュの扱いにおける不具合				
情報分類	技術情報				
適用製品	Cente FileSystem Ver4.00～Ver5.70				
影響API	fopen, rename, remove, vfopen_hash, fgetc, fgets, fputc, fputs, fread, fwrite, fseek, remove_hash, move, chg_attr, chg_tstamp, chg_filelen, mkdir, rmdir, chk_dsk, ini_pwc, ct_divide, ct_ins_clust				
関連資料	なし				
【詳細】 FATキャッシュ、ディレクトリキャッシュを使用した場合において、デバイスから新規セクタ情報取り込み時にDriverからエラーが返された場合に、エラーにも関わらずキャッシュの管理情報を更新してしまっていた為、次に同じセクタに対してRead要求が発生した際にキャッシュヒットしてしまい、キャッシュ内の古いデータが返されてしまう。					
【症状】 キャッシュ内の古いデータをもとに処理が行なわれた場合、以下のような問題が発生する可能性がある。 <ul style="list-style-type: none">・ファイル/ディレクトリを正しく検索することができない。・ファイルアクセス時、存在するはずのデータが読めない、または別のデータを読み込んでしまう。・FAT/ディレクトリエントリに対して誤った情報を書き込んでしまう。					
【回避方法】 ■運用での回避方法 以下の条件を満たすことにより、運用で回避することが可能です。 <ul style="list-style-type: none">・FAT及びディレクトリキャッシュを使用しない。					
■プログラム修正による回避方法 fs_cache.cのnew_cache(), new_dcache()に修正が必要です。 修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。					
以上					